

2024年4月における評価方法の変更等の概要

■ 評価方法の変更について

評価方法を次の通り変更しました。

<暖房設備／冷房設備>

1. ルームエアコンディショナーについて、JIS C 9612:2013「ルームエアコンディショナ」の規定に準じ、本評価方法における定義を変更しました。当該の変更に関して、次の技術資料等を公開しました。
 - 技術情報の第四章「暖冷房設備」第一節「全般」

<自然エネルギー利用設備>

2. 開放形太陽熱温水器が評価対象として新たに追加されました。当該の変更に関して、次の技術資料等を公開しました。これに伴い、評価に用いる当該機器の仕様を表すパラメータを下表のように変更しました。なお、当該変更の前後で評価結果が変わる場合があります。

表 液体集熱式太陽熱利用設備(開放形太陽熱温水器)の仕様を表すパラメータの変更

変更前(2023年3月以前)		変更後(2024年4月以降)	
液体集熱式太陽熱利用設備の種類	仕様を表すパラメータ	液体集熱式太陽熱利用設備の種類	仕様を表すパラメータ
● 太陽熱温水器	<ul style="list-style-type: none"> ● 集熱部総面積または集熱貯湯部面積/有効集熱面積 ● 集熱部の設置方位角 ● 集熱部の設置傾斜角 	● 開放形太陽熱温水器	<ul style="list-style-type: none"> ● 給湯接続方式 ● 太陽熱用水栓の種類 ● 集熱部総面積 ● 集熱部効率係数 ● 集熱部熱損失係数 ● 循環流量係数 ● 熱交換器伝熱係数 ● 貯湯タンク容量 ● 有効出湯効率 ● タンク放熱係数 ● 集熱器の設置方位角 ● 集熱器の設置傾斜角

当該変更に伴い、次の技術資料等を公開しました。

- 技術情報の第七章「給湯設備」
- 技術情報の第九章「自然エネルギー利用設備」第二節「液体集熱式太陽熱利用設備」
- 技術情報の第九章「自然エネルギー利用設備」第三節「空気集熱式太陽熱利用設備」

■ 上記以外の修正等について

技術情報等を次の通り修正しました。

<外皮>

3. 開口部の熱貫流率及び日射熱取得率の計算において、付属部材の影響を評価する際のルールを整理しました。当該の整理に関して、次の技術資料等を公開しました。なお、当該整理の前後で評価結果が変わる場合があります。
 - 技術情報の第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第三節「熱貫流率及び線熱貫流率」
 - 技術情報の第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第四節「日射熱取得率」

<暖房設備>

4. 電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯温水暖房機（給湯熱源：ガス瞬間式、暖房熱源：電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用、貯湯タンクなし）について、温水暖房用熱源機における行き温水温度の候補を修正しました。当該の修正に関して、次の技術資料等を公開しました。なお、当該修正の前後で評価結果が変わる場合があります。
 - 技術情報の第四章「暖冷房設備」第七節「温水暖房」

<自然エネルギー利用設備>

5. 液体集熱式太陽熱給湯設備において、給湯熱需要を超えた補正集熱量が計算される不備を修正しました。当該の修正に関して、次の技術資料等を公開しました。なお、当該修正の前後で評価結果が変わる場合があります。
 - 技術情報の第九章「自然エネルギー利用設備」第二節「液体集熱式太陽熱利用設備」

以 上

※「技術情報」とは、国立研究開発法人 建築研究所が公開する「平成 28 年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)現行版」です。「資料」、「Excel ツール」および「WEB アプリ」とは、WEB サイト「住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム」において公開する入力補助ツール・補足資料です。